

中村大輝君(博士前期課程 2 年生)が the 20th International Conference on Retinal Proteins において ICRP Poster Presentation Award を受賞

当研究室の博士前期課程学生の中村大輝君が、2024 年 11 月 17 日～21 日にスイス、インターレーケンで開催された the 20th International Conference on Retinal Proteins において ICRP Poster Presentation Award を受賞した。

International Conference on Retinal Proteins は、レチナール発色団を含むタンパク質(レチナールタンパク質あるいはロドプシンとよばれる)に関する最大規模の国際会議で、隔年で開催されている。毎回 150 名程度の参加者が最新の研究成果を持ち寄り、活発な討論が行われる。本国際会議では、若手研究者の優れた研究発表を評価し、若手研究者をエンカレッジするために、毎回 Poster Presentation Award が贈られている。発表のなかから国際運営委員によって選考される。今回、中村君の研究成果と発表のわかりやすさが高く評価され受賞に至った。

中村君は、本国際会議において、「Unusual Interaction of Schiff Base in the Retinal Chromophore of Sodium Ion-Pumping Rhodopsins」というタイトルでポスター発表を行った。発表の対象となった研究成果については、別項(『中村大輝君(博士前期課程 2 年生)が第 18 回分子科学討論会において優秀講演賞を受賞』)において説明しているものである。しかし、今回の発表は第 18 回分子科学討論会での発表を単に英語にただけではない。口頭発表とポスター発表の形式の違いを意識して、聴く人が理解しやすいように再構成したほか、わかりやすい説明のためにタブレットを併用するなどの工夫を行った。また、中村君は発表練習を繰り返し入念な準備を行った。そのような努力の結果としてわかりやすい発表が行われ、中村君の優れた研究成果が聴衆にしっかりと伝わったのだと考えている。今後は、自ら立案したタンパク質機能に対する膜構成の役割に関する研究を新しく始める予定である。新しい研究テーマに取り組む際にはさまざまな予想外の問題が研究の過程で生じるものであるが、不断の努力によって中村君がそれらをどう乗り越えていくかを楽しみにしている。

(水谷泰久)



授賞式の記念写真。中央が中村大輝君。